

令和2年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

2022年5月20日

十文字学園女子大学

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 令和元年度に改善すべき点に関し、令和2年度内に環境省告示第84号“実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準”の内容を反映し、管理者・実験動物管理者を設置した。またそれに伴い規程・様式等を改定したため。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程、十文字学園女子大学全学委員会通則規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 令和元年度の改善すべき点に関し、“十文字学園女子大学全学委員会通則規程”第39条2項に“前項第2号及び第3号の委員は、動物実験等に関して優れた識見を有する者、実験動物に関して優れた識見を有する者、又はその他学識経験を有する者をそれぞれ1名以上含むものとする。”と改定し、記載したため。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 □ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程、動物実験様式（様式 1～10）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 飼養保管施設設置承認申請書（様式 7）、実験室設置承認申請書（様式 8）、施設廃止届（様式 9）の様式を定めたため。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程、動物実験計画書（様式 1）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 令和元年度の改善すべき点に関し、動物実験規程第 7 条 1 項（3）に“安全管理に注意を払うべき実験（物理的、化学的に危険な材料、病原体、遺伝子組換え動物等を用いる実験）については、原則として本学では実施することはできない。”と改定し記載したため。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 十文字学園女子大学動物実験規程、動物実験マニュアル、動物実験様式（様式 5、6-1、6-2）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 令和元年度の改善点に関し、動物実験マニュアルの作成、動物実験規程（実験動物の使用及び保管）の項目を改定した。また動物実験様式に飼養・保管記録（様式 6-1、6-2）を新たに作成したため。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

十文字学園女子大学動物実験計画書（様式1）、同動物実験計画審査結果報告書・承認書（様式2）、同動物実験実施結果報告書・確認書（様式3）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（様式4）、動物実験教育訓練実施記録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

十文字学園女子大学動物実験規程に基づき、適正な活動を実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験様式（様式1～6）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告は適正に行われており、令和元年度の改善点に関し、自己点検票（様式5）を定めたため。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 十字学園女子大学動物実験計画書 (様式 1)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 十字学園女子大学動物実験規程、動物実験様式 (様式 5、6-1、6-2)、動物実験マニュアル
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 令和元年度の改善点に関し、動物実験マニュアルを作成した。また、自己点検票 (様式 5)、飼養・保管記録 (様式 6-1、6-2)、を定めたため。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験様式 (様式 6-1、6-2)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 令和元年度の改善点に関し、飼育室の温度、湿度等の環境条件の記録の保存を様式 6-1、6-2 にて動物実験責任者に測定させ、記録をしたが、施設等の維持管理の記録が保存されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 次年度からは管理者・実験動物管理者が施設等の維持管理記録を作成し、保存する。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験教育訓練記録、動物実験教育訓練資料、同参加者名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全確保、安全管理に関する事項・人獣共通感染症に関する事項に関して本年度より教育訓練の項目に取り入れたため。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 平成 23 年から 31 年度・令和元年度までの動物実験に関する自己点検・評価報告書（ホームページに公開済み）。自己点検は今回が 10 回目である。本報告書も公開予定である。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成 23 年度から 31 年度・令和元年度までの報告書はホームページに公開済みである。また、動物実験審査状況、飼養の状況や教育訓練の実施状況についても、併せて公開している。動物実験規程についても今年度より本学ホームページに公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

該当なし。

9. 本年度の活動のまとめ

1) 動物実験審査状況（令和 2 年度） 別紙表1のとおり
2) 各動物実験における動物種と飼養数（令和 2 年度）

別紙表2のとおり

3)教育訓練実施結果（令和2年度）

別紙表3のとおり

別紙

表 1 動物実験審査状況（令和 2 年度）

部局名	動物実験計画書の審査のまとめ		
	許可件数	改訂後許可件数	不許可・取下げ件数
食品開発学科	5	0	0
計	5	0	0

表 2 各動物実験における動物種および飼養数（令和 2 年度）

計画書・報告書 番号	動物種と飼育数	
	マウス	ラット
2001	21	
2002		16
2003	12	
2004	19	
2005	21	
計	73	16

実験動物管理者記

表 3 教育訓練実施結果（令和 2 年度）

開催年月日	場所	参加人数			計
		教員	学生	その他	
令和 2 年 6 月 29 日	Zoom	3 名	0 名		3 名
令和 2 年 7 月 2 日	Zoom	1 名	4 名		5 名

教育訓練 講師・内容等

第1回

日時：令和2年6月29日13:00～14:30

場所：Zoom

講師：人間生活学研究科・食物栄養学専攻 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食物栄養学科 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食品開発学科 教授（施設管理者）

内容：法令等（e-learning 動物実験の実践倫理）、機関内規程、実験計画書の作成、動物実験の方法及び実験動物の取扱に関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項、安全確保、安全管理に関する事項、人畜共通感染症に関する事項

第2回

日時：令和2年7月2日13:00～14:30

場所：Zoom

講師：人間生活学研究科・食物栄養学専攻 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食物栄養学科 教授（動物実験委員会委員）

人間生活学部・食品開発学科 教授（施設管理者）

内容：法令等（e-learning 動物実験の実践倫理）、機関内規程、実験計画書の作成、動物実験の方法及び実験動物の取扱に関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項、安全確保、安全管理に関する事項、人畜共通感染症に関する事項